

# 新地方公会計制度による財務4表

## ① 連結貸借対照表(バランスシート) 平成22年3月31日現在

貸借対照表は、年度末現在、市にどれだけの価値(資産・負債・純資産)が存在しているかを表すストック(財産残高)の明細です。表の左側は、プラスの価値である資産、右側は、マイナスの価値である負債と、正味の財産である純資産が記載されています。

<b>資産 ア</b> <span style="float: right;">5,402 億 1 千万円</span> <small>本市が保有している財産です。すなわち、平成 22 年度以降の行政サービスに投入・提供できる金額です。</small>  <table style="width: 100%;"> <tr> <td>金融資産</td> <td style="text-align: right;">421 億 3 千万円</td> </tr> <tr> <td>  資金</td> <td style="text-align: right;">63 億 4 千万円 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">A</span></td> </tr> <tr> <td>  基金・積立金</td> <td style="text-align: right;">278 億 7 千万円</td> </tr> <tr> <td>  未収金(税金他)</td> <td style="text-align: right;">42 億 9 千万円</td> </tr> <tr> <td>  その他</td> <td style="text-align: right;">36 億 2 千万円</td> </tr> <tr> <td>事業用資産</td> <td style="text-align: right;">1,273 億 0 千万円</td> </tr> <tr> <td colspan="2"><small>市役所、市民会館、学校、総合斎苑、デンパーク、福祉センター等の土地・建物や、物品等固定資産の価値です。</small></td> </tr> <tr> <td>インフラ資産</td> <td style="text-align: right;">3,707 億 8 千万円</td> </tr> <tr> <td colspan="2"><small>道水路、上下水道、ごみ処理施設、公園等の土地・設備の価値です。</small></td> </tr> </table>	金融資産	421 億 3 千万円	資金	63 億 4 千万円 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">A</span>	基金・積立金	278 億 7 千万円	未収金(税金他)	42 億 9 千万円	その他	36 億 2 千万円	事業用資産	1,273 億 0 千万円	<small>市役所、市民会館、学校、総合斎苑、デンパーク、福祉センター等の土地・建物や、物品等固定資産の価値です。</small>		インフラ資産	3,707 億 8 千万円	<small>道水路、上下水道、ごみ処理施設、公園等の土地・設備の価値です。</small>		<b>負債 イ</b> <span style="float: right;">714 億 1 千万円</span> <small>資産を形成するために拠出した金額のうち、借入金などこれからの世代の負担として残っている金額です。</small> <table style="width: 100%;"> <tr> <td>公債</td> <td style="text-align: right;">508 億 9 千万円</td> </tr> <tr> <td>借入金</td> <td style="text-align: right;">12 億 6 千万円</td> </tr> <tr> <td>退職給付引当金</td> <td style="text-align: right;">106 億 8 千万円</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td style="text-align: right;">85 億 8 千万円</td> </tr> </table> <b>純資産 ウ</b> <span style="float: right;">4,687 億 9 千万円 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">B</span></span> <small>資産を形成するために拠出した金額のうち、これまでの世代が既に負担した金額であり、将来返済する必要がないものです。</small>  <table style="width: 100%;"> <tr> <td>財源</td> <td style="text-align: right;">▲600 億 1 千万円</td> </tr> <tr> <td>資産形成充当財源</td> <td style="text-align: right;">5,285 億 1 千万円</td> </tr> <tr> <td>少数株主持分</td> <td style="text-align: right;">3 億 0 千万円</td> </tr> </table>	公債	508 億 9 千万円	借入金	12 億 6 千万円	退職給付引当金	106 億 8 千万円	その他	85 億 8 千万円	財源	▲600 億 1 千万円	資産形成充当財源	5,285 億 1 千万円	少数株主持分	3 億 0 千万円
金融資産	421 億 3 千万円																																
資金	63 億 4 千万円 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">A</span>																																
基金・積立金	278 億 7 千万円																																
未収金(税金他)	42 億 9 千万円																																
その他	36 億 2 千万円																																
事業用資産	1,273 億 0 千万円																																
<small>市役所、市民会館、学校、総合斎苑、デンパーク、福祉センター等の土地・建物や、物品等固定資産の価値です。</small>																																	
インフラ資産	3,707 億 8 千万円																																
<small>道水路、上下水道、ごみ処理施設、公園等の土地・設備の価値です。</small>																																	
公債	508 億 9 千万円																																
借入金	12 億 6 千万円																																
退職給付引当金	106 億 8 千万円																																
その他	85 億 8 千万円																																
財源	▲600 億 1 千万円																																
資産形成充当財源	5,285 億 1 千万円																																
少数株主持分	3 億 0 千万円																																

この表から

- 市全体の資産と負債の額が分かります。(総人口数：H22.3.31 現在 180,192 人)  

資産	5,402 億 1 千万円	(人口一人当たり資産 2,997,948 円)
負債	714 億 1 千万円	(人口一人当たり負債 396,319 円)

※ 平成 20 年度末と比較すると、資産は 3 億円増加し、負債は 37 億円減少し、結果、純資産は 40 億円増加しています。
- これからの世代に引き継ぐ資産が分かります。  
 これまでの世代の負担分 純資産比率 86.8%(ウ/ア) (民間企業における自己資本比率です。)  
 ※ H21.3.31 現在の純資産比率 86.1%

## ④ 連結資金収支計算書 平成21年4月1日～平成22年3月31日

貸借対照表に計上されている資金(≒現金)の増減を表すフローの計算書です。性質を経常的収支(行政サービスそのものの実施により生じる資金収支)、資本的収支(固定資産の購入や売却により生じる資金収支)、財務的収支(借入や借入返済により生じる資金収支)の3区分で表示し、資金の利用状況や資金獲得状況が分かります。

平成 20 年度末残高	61 億 7 千万円
経常的収支	137 億 1 千万円、資本的収支 ▲89 億 5 千万円、財務的収支 ▲45 億 9 千万円
平成 21 年度末残高	63 億 4 千万円 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">A</span>

この表から

- 経常的経費や投資的経費による資金収支が分かります。 137 億 1 千万円、▲89 億 5 千万円
- 財務的収支で、借入等による資金収支が分かります。 ▲45 億 9 千万円  
 ※ 経常的収支で、資本的収支(固定資産の購入など)や財務的収支(借入金の返済など)を賅うことができていることが分かります。

※ 連結の範囲 市の一般会計、特別会計、水道事業会計に、衣浦東部広域連合(消防)、土地開発公社、安城都市農業振興協会(デンパーク)、三河安城駐車場㈱、社会福祉協議会の関連団体を連結しています。  
 ※ 表中、表示単位未満四捨五入の関係で、積み上げと合計が一致しないか所があります。

## ② 連結行政コスト計算書

平成 21 年 4 月 1 日～平成 22 年 3 月 31 日

1 年間の行政サービスが、どのような形でどれだけ行われたかを表すフローの計算書です。

現役世代に対して、平成 21 年度にどれだけのサービスを提供したかを表しています。民間企業における「損益計算書」にあたりません。

<b>経常費用(1)</b>	<b>699 億 9 千万円</b>
<small>行政サービスに要した費用を表しています。</small>	
人件費(ヒトにかかるコスト)	126 億 5 千万円
物件費(モノにかかるコスト)	121 億 6 千万円
経費(業務委託やサービスにかかるコスト)	91 億 1 千万円
業務関連費用(利息の支払等)	25 億 8 千万円
保険給付等(国保、介護保険等)	189 億 8 千万円
民間/市民への補助・扶助等	145 億 1 千万円

<b>経常収益(2)</b>	<b>85 億 8 千万円</b>
<small>行政サービスの利用者が負担する使用料・手数料等を表しています。</small>	
業務収益(手数料等の受益者負担)	64 億 0 千万円
業務関連収益(その他の収入)	21 億 9 千万円

<b>少数株主損失(3)</b>	<b>3 千万円</b>
------------------	--------------

<b>差引：純行政コスト(1)-(2)-(3)</b>	<b>613 億 7 千万円 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">C</span></b>
-----------------------------	--

この表から

- 経常的な行政サービスにかかったコストが分かります。 699 億 9 千万円
- 受益者負担でどれほどコストが賄われたかが分かります。 85 億 8 千万円
- 平成 21 年度 1 年間で市民が市から受けたサービスの金額が分かります。 340,582 円(613 億 7 千万円÷180,192 人)  
 ※ 平成 20 年度 332,234 円(596 億 5 千万円÷179,547 人) (総人口数：H21.3.31 現在 179,547 人)

## ③ 連結純資産変動計算書

平成 21 年 4 月 1 日～平成 22 年 3 月 31 日

貸借対照表に計上されている、資産から負債を差し引いた純資産が、1 年間でどのように増減したかを表すフローの計算書です。純資産の増減は、将来の行政サービスに対する蓄えの増減を意味します。

平成 20 年度末残高	4,648 億 0 千万円
-------------	---------------

<b>純資産の増加(1)</b>	<b>709 億 1 千万円</b>
<small>純資産を増加させた原因を表しています。</small>	
税金	382 億 0 千万円
社会保険料	64 億 4 千万円
国・県等からの補助金	169 億 8 千万円
負担金や寄付金の受取	83 億 6 千万円
その他	9 億 4 千万円

<b>純資産の減少(2)</b>	<b>669 億 1 千万円 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">C</span></b>
<small>純資産を減少させた原因を表しています。</small>	
純行政コスト	613 億 7 千万円
インフラ資産の減価償却	52 億 4 千万円
資産の除却等	2 億 0 千万円
その他	1 億 0 千万円

当期変動額(1)-(2)	+40 億 0 千万円
--------------	-------------

平成 21 年度末残高	4,687 億 9 千万円 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">B</span>
-------------	---

この表から

- 純資産がどのように変動したかが分かります。  
 これからの行政サービスのための蓄えがこの 1 年で 40 億円分増えました。
- 純資産はどのような財源で形成されたかが分かります。  

税金	382 億 0 千万円
国・県等からの補助金	169 億 8 千万円